

# 平成26年度 事業報告

第二青陽園

計 画	実 施 状 況
<b>1 事業</b> (1) 特別養護老人ホームの経営 第二青陽園 定員90人 (2) 老人短期入所事業の経営 第二青陽園 定員10人	計画どおり

<b>2 経営方針</b>	計画どおり
---------------	-------

<b>3 行動指針</b>	計画どおり
---------------	-------

<b>4 収支目標</b>	
開設2年目は、長期入所率98%を確保し、短期入所については居宅支援事業所等との連携を確立し90%の入所率を目標とします。	長期入所率96.9% 短期入所率66.8% 全体93.9%

<b>5 実施内容</b>	
<b>(1)安全・安心のサービスを実施する。</b>	
① 入居を計画的に安全に進める。 ・利用者及び家族に対し、重要事項等をわかりやすく説明する。 ・計画的に入所手続きを進め、目標設定した入所率を確保する。	・相談員より、利用者及び家族等へ、施設入所にあたり不安が少なくなるよう説明した。 ・長期入所については、安定した入所率を確保出来た。短期入所については、年度後半には、入所率85%以上を確保した。
② 社会的な信頼の確保と向上 ・個人情報の保護などを適切に行うために、法令、各種規程の遵守の徹底を図るための研修等を実施する。 ・介護保険請求の減算やサービスの低下をきたさないよう、配置基準を確認し、必要な職員を確保する。 ・第三者評価を受審し、高い評価を得られるサービスに努める。	・個人情報保護等の研修を計画的に実施した。 ・夜間帯の介護員を増員し、利用者へ安心感を持っていただき、加えて夜間職員配置加算を新に算定をしたことで収入増に繋げた。 ・第三者評価の受診を予定通り実施し、良好な評価を得る事が出来た。

<p>③ 医療体制の維持</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者・家族から安心感を持たれるよう、必要に応じ丁寧な状況説明を行う。</li> <li>・非常勤医師による定期的な診察を行うとともに、内容の充実に努める。</li> <li>・主治医等との密接な連携を図り、家族の要望を踏まえて看取り看護を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康面の相談には、利用者・家族等への説明を適切に行い、安心していただけた。</li> <li>・定期的な診察を行う事で、利用者の症状等に対し、早期対処する事が出来た。</li> <li>・平成26年度は7名の方の看取りをさせて頂いた、家族等と事前の取り決めもしていたことから、スムーズに対応出来た。</li> </ul>
<p>④ 防災体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防火管理委員会を計画的に開催し、組織的な防災体制の充実に努める。</li> <li>・定期的な防災訓練、定期点検を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防火管理委員会を7回開催し、避難訓練の検証を行い、また AED 講習会や消火栓から実際に放水する体験をする事で、防災意識を高める事に繋がった。</li> <li>・定期的な防災訓練に加えて、地域との合同防災訓練に参加した。</li> </ul>
<p>⑤ 事故、感染症等の防止</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外部研修に参加するとともに、それらの内容を踏まえ園内研修の充実に努める。</li> <li>・ヒヤリハット等に基づいて、必要なマニュアルの見直し、整備を実施し、事故、感染症の発生防止に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園内研修で職員に対し事故防止、感染症等防止の対策を身に付けた。</li> <li>・インフルエンザ対策として、大型加湿器を設置した。</li> <li>・事故防止委員会でヒヤリハットの基準を定め、ヒヤリハットの事例を基に検証と事故防止対策を実施した。</li> </ul>
<p>⑥ 虐待・拘束ゼロの徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外部研修に参加し、その内容を踏まえて園内研修を実施する。</li> <li>・マニュアルの徹底、必要な見直しを実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・八王子市の研修に介護職員を受講させ、また園内研修も実施し、虐待・身体拘束ゼロを徹底した。</li> <li>・尊厳保持、虐待、拘束防止委員会を定期開催し、マニュアルの検証等を実施した。</li> </ul>
<p>⑦ 建物、設備の維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建物・設備の点検をし、必要に応じて修繕を行い利用者が安全に暮らせる環境を維持する。</li> </ul>	<p>安全衛生委員会において、毎月設備等の確認と、週1回衛生管理者が巡視を実施し、修繕等必要な箇所は迅速に対応し、利用者が安全に暮らせる環境を維持した。</p>
<p><b>(2) 信頼の高いサービスを実施する。</b></p>	
<p>① 個別サービス計画について、組織的な見直しを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者・家族の要望を組織的かつ的確に把握する。</li> <li>・介護課及び医務課との連携強化を図り、サービスの向上に努める。</li> <li>・入所管理システムを活用し、情報を共有するとともに業務の効率化を図る。</li> <li>・サービス実施後の評価を適切に行い、その後のサービス計画に反映させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・方針会議、ケアプラン会議に加え、利用者アンケートや家族懇談会で利用者及び家族等の意見を把握した。</li> <li>・介護課と医務課が相互に補完し、利用者サービス向上に努めた。</li> <li>・入所管理システムの掲示板等を活用し、情報伝達等を効率的に行った。</li> <li>・利用者の心身状態と、サービス提供状況を評価し、次のサービス計画作成に反映させた。</li> </ul>
<p>② 利用者・家族の意見、要望の把握</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サービスプランについて、十分な説明を行い、利用者・家族の同意が得られるよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族に対し、ケアプラン会議への参加を積極的によびかけ、利用者・家族等の意見を把握しサービス計画を作成した。</li> </ul>

<p>にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月1回、園長と利用者との定期的な懇談会を開催し、利用者の意見等を把握する。</li> <li>・多くの家族が来園する園行事の機会を捉え、家族と園との懇談会を開催し、意見交換を深める。</li> <li>・年に1回以上のアンケート調査を実施し、意見・要望の把握に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月喫茶の時間に、園長が利用者との意見等を聞く時間を取ることが出来た。</li> <li>・お花見会と敬老会開催時に、家族懇談会を開催し多くのご家族に参加いただいた。</li> <li>・第三者評価の受審時に、利用者アンケートを行い、利用者の要望等を把握することが出来た。</li> </ul>
<p><b>(3) 満足度の高いサービスを実施する。</b></p>	
<p>① サービス計画に基づくサービスの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食事、排せつ、入浴等の個別サービスを実施する。</li> <li>・医療、健康管理、機能訓練サービスを実施する。</li> <li>・個人の状態に即した食事形態や季節感を取り入れた行事食、選択食などによりきめ細かな食事サービスを実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別の24時間ライフサイクルシートを作成し、利用者の生活リズムに合わせたサービス提供を実施出来た。</li> <li>・施設サービス計画に沿った、健康管理、機能訓練を実施した。</li> <li>・管理栄養士、看護職員、介護職員等が利用者の状態を確認し、個人の状態に合わせた食事形態で提供した、また医師の指示に基づき、療養食の提供も行った。</li> </ul>
<p>② 各種行事等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お花見、敬老の日の行事など、季節感のある全体行事を実施する。</li> <li>・利用者の要望を取り入れたユニット活動を実施する。</li> <li>・入居者クラブ活動等の充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各部署で協力し、季節感のある行事を実施し、利用者に喜んでいただいた。</li> <li>・ユニット毎に利用者の要望を聞きながら、活動を実施することが出来た。</li> <li>・クラブ活動は毎回参加者も多く、利用者へ充実した時間を提供する事が出来た。</li> </ul>
<p><b>(4) 経営基盤の充実を図る。</b></p>	
<p>① 経営感覚の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・月々の収支を明確にし、定例会にて評価し経営の充実に努める。</li> <li>・幹部職員は施設の経営状況を理解し、常に施設経営の向上に努める。</li> <li>・介護保険知識の習得・習熟に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月の収支を、職員にわかりやすい形式で資料作成したことで、経営状況の理解がすすみ、経営の充実に繋げることが出来た。</li> <li>・幹部職員に対し、収支の状況や青陽園の経営等と照らしながら、収支の向上に努めた。</li> <li>・今年度は、実地検査もあり、各部署とも介護保険制度について学ぶ良い機会となった。</li> </ul>
<p>② 職員の確保・定着</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資格要件加算等に必要な各種資格を取得する際の支援体制の充実を図る。</li> <li>・青陽園で実施する介護職員初任者研修の受講促進をする。</li> <li>・福祉専門学校等の卒業生を積極採用する。</li> <li>・職員が業務に対する充実感、達成感等を持てる職場環境の整備を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勤務スケジュールの調整や有資格者からの助言等により、介護福祉士1名の資格取得が出来た。</li> <li>・青陽園実施の介護職員初任者研修に1名受講した。</li> <li>・上記介護職員初任者研修受講者から1名非常勤雇用した。</li> <li>・利用者の入退情報から業務連絡等、各部署共通のシステムを使用することにより、業務の効率化を図った。また新規入職者への研修や、操作が苦手な職員に対しては OJT を実施した。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>IT 技術等の活用を図ることにより、業務の効率化を図る。</li> </ul>	
<p>③ 知識の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施設内において定期的な研修を実施する。</li> <li>外部研修への積極的な参加とその成果を活用する。</li> <li>東京都社会福祉協議会主催のアクティブ福祉イン東京での発表やマニュアル等の見直し等で、優良な提案があった場合は賞賛していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>月2回定期的に研修を実施した。</li> <li>必要な外部研修を受講させた。</li> <li>アクティブ福祉イン東京に、第二青陽園として初めて、事例を発表する事が出来た。</li> </ul>
<p>④ 業務の簡素化・効率化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>業務分掌、責任と権限を明確にするとともに、マニュアルの整備を行う。</li> <li>会議の効率的な活用と運営を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種委員会等において、業務等内容を検討し、必要な場合にはマニュアル等の変更を実施した。</li> <li>会議ごとに予め時間を設定し、それに合わせた資料作成、議事進行を行う事により、効率化が図れた。</li> </ul>
<p>⑤ 法人内施設との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>青陽園を始め、各施設と行事や研修等を通し、積極的に交流を図り施設運営の向上に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度は青陽園のいきいき健康相談に参加し、また例年開催される行事についても、法人内施設と連携し実施する事が出来た。</li> </ul>
<p><b>(5) 地域との連携を図る。</b></p>	
<p>① 地域・町会との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>園行事、法人主催の夏祭り、防災訓練、バザー等を通して地域と交流を図る。</li> <li>広報誌発行やホームページ等により、適切な広く情報提供に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間行事予定通り、地域・町会と連携し、防災訓練、夏祭り、チャリティバザー等実施した。</li> <li>年3回広報誌を発行した、またホームページに園行事等掲載し、情報提供に努めた。</li> </ul>
<p>② ボランティアの積極的な受入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティアの経験を活かし、クラブ活動への参加や講師の依頼を行う。</li> <li>ボランティアとの定期的な懇談会を開催し、積極的な受入れを行う。</li> <li>ボランティアの皆さんへ御礼状等により感謝の意を表す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>7グループ、13名のボランティアに活動していただき、利用者に活気ある時間を提供していただいた。</li> <li>3月にボランティア懇談会を実施し、ボランティアからの意見を聞く事や、園としての取り組み等を説明した。</li> <li>ボランティア懇談会において、園よりお礼をしました。</li> </ul>
<p>③ 高齢者関係機関との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東京都、八王子市との情報交換等を積極的に行う。</li> <li>東京都社会福祉協議会、八王子市社会福祉協議会等との連携を図る。</li> <li>定期的に八王子施設長会に参加し、他施設との情報交換を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度は東京都と八王子市の合同で、実地検査が行われた事もあり、園の運営等について情報を得る事が出来た。</li> <li>東京都社会福祉協議会からの、研修や最新の情報を提供いただき、業務に役立てる事が出来た。</li> <li>施設長会に参加し、他施設と情報交換を行った。</li> </ul>